

〔2〕 「附養文化祭」における劇づくりの実践

10月下旬から11月下旬の時期に、昨年までは「学習発表会」として主にステージの発表を中心とした行事に取り組んできた。しかし、本年度から多様な発表形式を取り入れるため「附養文化祭」と名称を改め、新たな取り組みを始めた。

小学部では、この「附養文化祭」に向け、ステージ発表と作品展の二つの発表に取り組んだ。ここでは、ステージ発表の劇づくりについてその実践の一端を述べたい。

(1) 「附養文化祭」における劇づくりの設定の理由(研究テーマとの関連から)

- 好きな活動や遊び的な活動を楽しみながら、みんなで一つのものをつくりあげる喜びを感じることができる。
- 先生や友だちと一緒に、みたて・つもりの活動を楽しむことができる。
- 役になったつもりで、先生や友だちと表現することを楽しむことができる。
- 音楽、ダンス、太鼓、リズム遊び等を取り入れることで、自由に身体を動かすことができ、豊かな心を育てることにつなげることができる。
- 劇づくりに必要な小物や背景等を作る活動の中で、作った物を使う喜びを感じることができる。
- 順番を待ったり、友だちの演技を見たりしながら、協力する力や自制心、集団参加の力を育てていくことができる。
- 学級集団を解いたグループ活動の中で、少しは人間関係を抜けることができる。

(2) 子どもたちの実態と劇づくりにおけるPLANの支援

子どもたちの実態	P L A N の 支 援
<ul style="list-style-type: none"> •発語や言語理解における発達の遅れが目立つ児童が多い。 •劇に対する見通しが立ちにくい。 •自制心が十分に育っておらず、待つことが苦手である。 •好きなことなら生き生きと取り組める。 •みたて・つもりの活動が好き。 •音楽に合わせて体を動かすことが好き。 	<ul style="list-style-type: none"> •短い台詞や繰り返しの台詞を採用する。 •普段使っている言葉、本人の発声しやすい単語を使用する。 •登場人物に合わせたテーマ音楽を使用する。 •同じパターンを繰り返す。 •グループごとの出番を短く、みんなが出る場面を多くする。 •一人ひとりの個性や好きなことを配慮し、それを役づくりに生かす(変身、太鼓など)。 •工事のおじさんの工事場面や動物の変身場面を取り入れる。アドリブを演技として認める。 •のりのいい音楽や児童の好きな音楽をふんだんに使う。

(3) 脚本づくりににおける支援

上記のような支援を盛り込みながら、劇「ぼんぼこ山のあきまつり」の脚本を作っている

た。脚本の主な内容は次の通りである。

〈主な内容〉

ぼんぼこ山に住むたぬき、きつね、ねこたちは、秋祭りにむけて出し物の変身ごっこに余念がない。それを見守る森の長老。そんな平和な森に、人間たちが工事のためにやってきて、動物たちの家や森をこわしてしまう。そこで、動物たちは、得意な変身の術を使い、人間をおどかすことにする。動物たちのおどしにあった人間たちは、おわびに太鼓をプレゼントし、一緒に秋祭りを楽しむ。

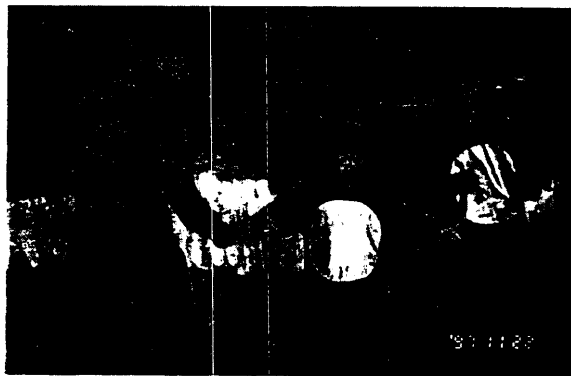
次に、具体的な脚本の内容とその支援の一部を述べる。

脚本の台詞等	支援
音楽『しょうじょうじのたぬきばやし』を流す。	<ul style="list-style-type: none"> たぬきの登場のテーマ音楽として使用する。これがかかると、たぬきになった児童は自分の出番であることを知ることができる。
N男「たぬきのみんな、へんしんのよういはいいか？」	<ul style="list-style-type: none"> 長くても覚えるのが得意なN男が、劇の練習に飽きないようにするために長めの台詞にする。
T男「さあ、しょうか。」	<ul style="list-style-type: none"> 緊張することも考えられるので、普段よく使う言葉を使う。また、短いと言いやすい。
U男「そーれ。へんしーん。」	<ul style="list-style-type: none"> 短くU男の言いやすい台詞にする。
K男「あれー。」	<ul style="list-style-type: none"> 短い台詞にする。 K男が発声できる「あー」「おー」などの発音を生かす。
R子「しっばい、しっばい。」	<ul style="list-style-type: none"> 台詞と同時に困ったようなしぐさ(普段見られる動作)を取り入れる。台詞以外の表現方法を使う。 動きで表現できそうな台詞にする。
G男 登場の前に音楽を使用する。	<ul style="list-style-type: none"> G男の好きな「水戸黄門」の音楽を流す。音楽を聴いただけで自分の登場の場面だと分かり、自分から進んで動くことができる。

(4) 劇づくりにおけるD0の支援と子どもたちの様子

○劇への意欲を持つための自己選択の工夫

子どもたちが積極的に劇に取り組めるように、学習の中に自分たちが決めるという場面を多く取り入れた。配役の決定も「～になるう」ではなくて、「～になりたい人はない？」という問いかけをし、自分で決定したという気持ちを大切にしたい。また、各動物の変身のシーンでは、どんな物に変身したいか、どのようにして人間をおどかしたいかなど、子ども



この音楽はわたしたちの出番!

もたちに投げかけ相談しながら決定していった。何もない状態から考え出すことは難しいので、教師が子どもたちの興味や関心を考慮し、教師の提示した物の中から選択し、決定するという形ではあったが、そのことで子どもたちは劇に自分から進んで参加し、練習そのものを楽しむことができた。

○個に応じたD0の支援

脚本作りが教師の大きな支援ではあったが、練習を重ねる段階では、個に応じた教師の支援がとても大切であった。以下、児童に対する個別のねがいとそのための支援、それに対する児童の様子を例を挙げる。



「はっはっはっ、修行がたりんなあ!」

氏名	ねがい	D0の支援	児童の様子
Y子	生き生きと劇に参加してほしい	教師がうたを歌いながらすぐに舞台のそでに上がる。舞台そででは、本児とスキンシップをはかりながら、そばで一緒に台詞を言ったり、「次は誰が出るかな?」などの言葉をかけたりする。	始めは、舞台に上がりたがらなかったが、一気に舞台へあがるとスムーズに劇に参加できた。言葉かけにより、劇のストーリーに入り込み、友だちの台詞と一緒に言ったり応援したりできた。
H子	楽しく生き生きと劇に参加してほしい	歌が好きなので、教師が舞台そでから一緒にうたを歌ったり、手をつないで揺れたりしながら出番を待つ。	舞台そでから友だちの演技をじっと見ていた。自分も早く出たいという様子であった。
R子	自分の出番を知り、楽しんで取り組んでほしい	教師と一緒に身振りや動作をしながら楽しめる雰囲気を作る。また、台詞の少し前に押し出して出番を知らせる。	自分の出番がわかり、リラックスして台詞や動作が出るようになった。
U男	緊張しても少しの支援で乗り越え、やり切ったという成就感を持ってほしい	舞台そでにいるときに、次の台詞を復唱する。台詞の少し前に肩をたたいて出番を知らせる。	自信を持って台詞を言ったり動作ができたりするようになった。
	楽しみながら台詞を大きな声でゆっくり言ってほしい	台詞の手本を示す時に「大きな声」「ゆっくり」という声をかける。また、立つ位置	教師の声かけだけで早口や小さな声を言い直すことが増えた。また、位置の印を付けたこ

N男	落ち着いて劇に参加してほしい	太鼓の位置など目印をつける。さらに、本児にとって落ち着ける心の杖のうちわを持って練習に参加してもよいこととする。	とにより、自分で活動できた。日々の練習に喜んで参加し、発表当日が近づいたときにうちわを持たなくてもその場を離れることなく参加できた。
----	----------------	--	--

(5) 反省と課題

子どもたちは、劇の練習を重ねるうちに劇のストーリーもすっかりわかり、友だちの演技を見ながら一緒にダンスをしたり、台詞を言ったりするようになった。また、工事の場面では、舞台そでから「あー」「どうしよう」などの動物の気持ちになった言葉が聞こえるようになり、活動を繰り返すことで劇を楽しむ姿も見られ出した。それぞれの動物たちの変身という演技は、子どもたちにはとても魅力的なことであり、練習そのものを楽しむことができる支援の一つであったと思う。

また、小道具作りできつねの家を作ったことにより、それに隠れることを楽しんで演技をする児童の姿も見られた。朝登校すると着替えに時間がかかるS子も、劇の練習の時間がせまると着替えを素早くすませ「さあ行こうで」と軽やかに体育館に向かった。集団参加の苦手な児童も得意な太鼓を劇の中に取り入れることでそれを楽しみにしながら劇に参加できた。このように、PLANやDOの支援をしっかりと考慮した生活単元学習を工夫することで、生き生きと学校生活を送る子どもたちの姿を見ることができた。

その他にも、登場人物をクラスを解いたグループに分けたことも、子どもたち同士、他クラスの教師との関わりが広がる良い機会となった。

発表当日が終わっても、劇に使った小道具や衣装を使って変身ごっこや工事のみたて・つもり遊びを楽しむ児童の姿も見られた。このような自主的な活動をさらに拡げていきたい。そのためにも、単元と単元の間をゆったりとしたものにできるように検討していく必要がある。そして、子どもたちが明日を楽しみに生活できるような生活単元学習をさらに工夫していきたい。

(山下美樹)



これから変身するのよ



お仕事がんばるぞ。おー!



工事のおじさんやってみたかったの!